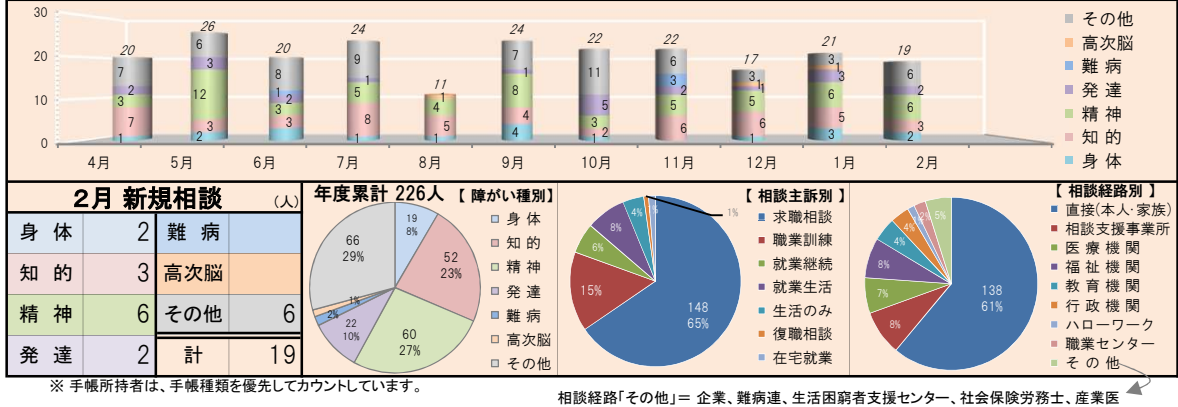


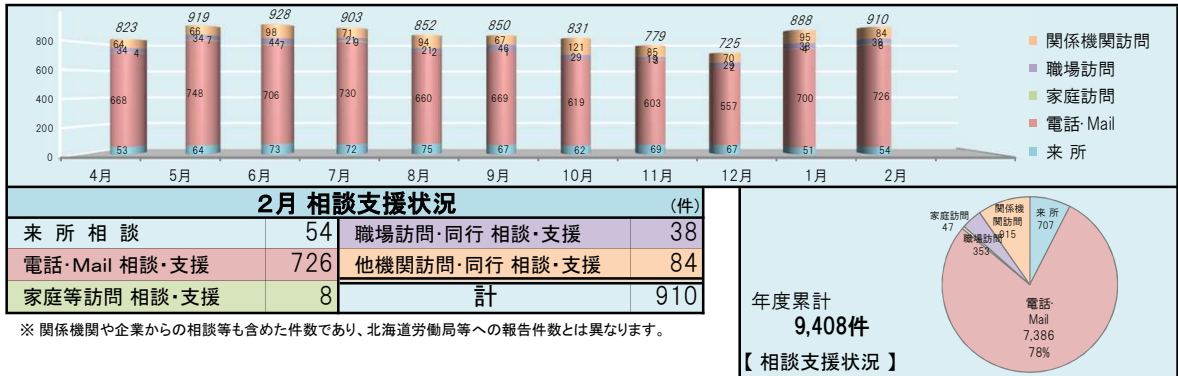
2018（平成30）年 2月 相談支援状況報告

今年度の事業計画を検証し、次年度の事業計画を立てる時期ですね。
達成できた目標、積み残しや新たな課題など、職員間でも協議・共有しながら、平成30年度 事業計画を立てている最中です。
地域ニーズ・状況の変化に合わせて機能微調整なども盛り込みたいと思います。 2018.03/05 <M>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数（目標：40人）

今年度累計 29 人 / 目標達成率 72.5%

No.	実習に取り組まれた方（障がい種別・性別・年代など）	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
22	精神	40代 男性 北海道障害者職業センター / 職業準備支援
23	精神	50代 男性 北海道障害者職業センター / 職業準備支援
24	精神（発達診断あり）	30代 男性 サービス業 / 事務業務 / 職務試行法
25	身体	20代 女性 情報通信業 / 事務補助業務 / 大学連携実習
26	精神	40代 男性 北海道障害者職業センター / 職業準備支援
27	知的	40代 男性 元気スキルアップセミナー参加
28	知的	20代 女性 サービス業 / 品出し・接客 / 制度なし
29	精神（高次脳機能障がい）	20代 女性 サービス業 / 事務業務 / 就労移行連携

4. 就職件数（目標：30人）

今年度累計 34 人 / 目標達成率 113.3%

No.	就職された方（障がい種別・性別・年代など）	雇入れ企業業種 / 業務内容など
30	精神	50代 女性 教育学習支援業 / 図書館司書
31	精神（発達診断あり）	40代 女性 医療・福祉業 / 支援員
32	身体（重度・精神重複）	30代 男性 サービス業 / 事務業務
33	精神（発達診断あり）	20代 男性 情報通信業 / システムエンジニア
34	精神（発達診断あり）	20代 女性 公務 / 事務業務

5. その他（地域での各種活動など）

02 FRI	さぼコン（就労支援推進部会 広報チーム主催）：部会構成員に加入している事業所の若手職員の方々向けの意見交流会。
05 MON	札幌市自立支援協議会 研修チーム：障がい者支援員養成研修levelⅡ グループワーク内容や当日役割分担など協議
06 TUE	発達障がい者雇用支援連絡協議会：障害者職業センター「職業準備支援」の柔軟な利用方法や学生を対象とした内容など協議
09 FRI	自立支援協議会 南区地域部会「就労支援って何？プロジェクトチーム」；当事者・家族・支援機関むけに、雇用促進法・福祉サービス等情報提供
14 WED	就労支援セミナー 札幌国際大学（北海道労働局主催）：障がいのある学生・保護者・教員にナカボツ機能説明の後、個別相談に対応
17 FRI ~ 18 SAT	就業・生活支援センター事業をより深く考える全国フォーラム：全国のナカボツセンター職員が一堂に会し、行政機関との意見交換など
20 TUE	第2回 障がい者就職面接会：支援対象者4名が応募。必要に応じて面接同席支援等に対応。
21 WED	札幌市自立支援協議会 専門部会連絡会議：こども部会 相談部会との情報交換、札幌障がい者プランにむけた協議
21 WED	発達障害者就労支援者育成事業 就労支援者むけ交流会；支援者・当事者・家族のパネルディスカッション等。2名が研修参加。
23 FRI	就労支援推進部会 広報チーム：開催したさぼコンの振り返りなど
27 TUE	障がい者支援員養成研修level 2（自立支援協議会主催）；研修1日目の会場設営・講師対応・司会など運営に参画

6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

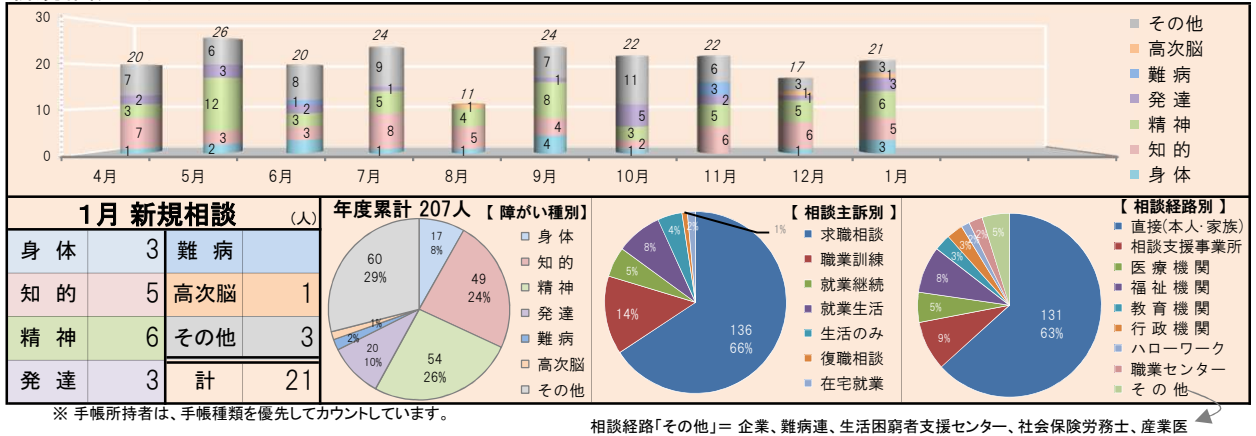
	1月1日 指定事業所	→1月中増減→		2018(平成30)年 2月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→休止中→		
就労移行	80ヶ所			80ヶ所	987名	△ 4	76ヶ所	945名
就労継続 A型	118ヶ所			118ヶ所	2,171名	△ 9	109ヶ所	2,041名
就労継続 B型	315ヶ所	4		319ヶ所	6,268名	△ 10	309ヶ所	6,088名
計	513ヶ所	4	0	517ヶ所	9,426名	△ 23	494ヶ所	9,074名

就労移行支援事業所の増減 なし

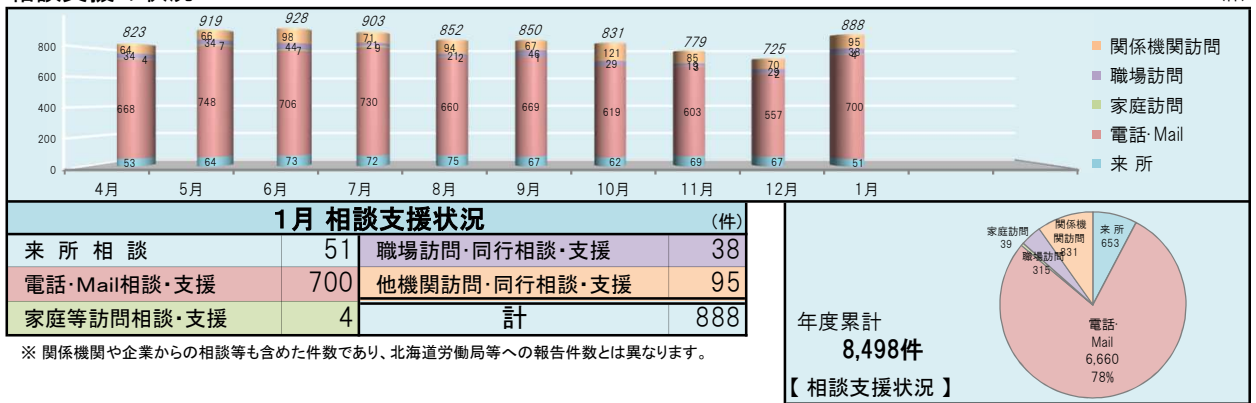
2018（平成30）年 1月 相談支援状況報告

9月に引き続き、第2回札幌職リハ連絡会を実施しました。
 ハローワーク（3所）×ナカボツ（5所）で、相互に担当者が代わることがあっても、スムーズな連携関係が継続している仕組みづくりについて情報交換・協議を行いました。
 ハローワークによって職員体制やスペースなどに違いがあり、一律の仕組みを作っていくのは難しいことから、ハローワーク毎に連携強化にむけた取り組み内容などを協議していくこと（来年度にむけた宿題）となりました。 2018.02/06（M）

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援 件数（目標：40人）

今年度累計 21人 / 目標達成率 52.5%

No.	実習に取り組まれた方（障がい種別・性別・年代など）	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
19	精神（発達診断あり） 40代 女性	福祉サービス業 / 事務補助業務 / 札幌市就業体験事業
20	精神（発達診断あり） 30代 男性	卸売・小売業 / 事務補助業務 / 制度活用なし
21	精神（発達診断あり） 30代 女性	北海道障害者職業センター / 職業準備支援

4. 就職件数（目標：30人）

今年度累計 29人 / 目標達成率 96.7%

No.	就職された方（障がい種別・性別・年代など）	雇入れ企業業種 / 業務内容など
28	精神 30代 女性	金融業 / 事務業務
29	精神（発達診断あり） 30代 男性	卸売・小売業 / 事務補助業務

5. その他（地域での各種活動など）

15 MON	第2回札幌職リハ連絡会； ハローワーク3所・障害者職業センター・市内ナカボツ5所・北海道労働局・札幌市障福課での情報交換、各種協議
24 WED	札幌市自立支援協議会 運営会議； 各プロジェクトチームの進捗状況、札幌障がい者プラン見直しアクション等（部会長の代理で出席）
24 WED	障がい者雇用セミナー（全重協主催）； 基調講演、シンポジウムを通して「障がい者雇用の可能性と課題」等について学んだ
24 WED	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 広報チーム； 若手支援者の意見を聴く会「さぼコン」開催に向けた打合せ等
27 SAT	日本職リハ学会 第46回北海道大会 実行委員会； H30.8/24(金)～25(土)開催予定の北海道大会に向けた打合せ
27 SAT	障がい者雇用 就労促進セミナー（日本職業リハビリテーション学会 北海道ブロックセミナー）； 就労継続支援A型事業所の課題等について学んだ
30 TUE	ハローワーク札幌 とねっと打合せ； 企業からの雇入れ相談や非公開求人への職場アセスメントやマッチングにむけた仕組みづくり等を協議

(6) 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

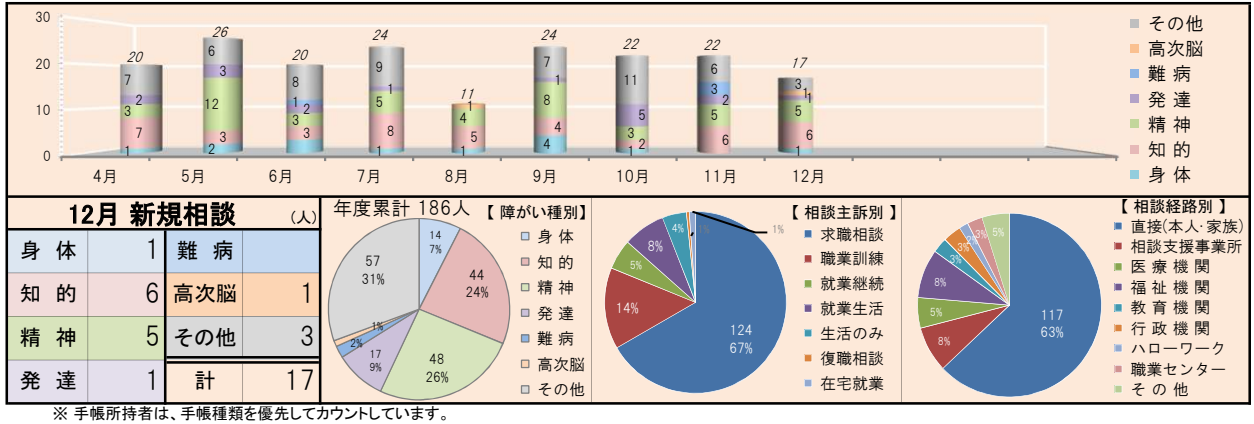
	12月1日 指定事業所	→ 12月中 増減 →		2018(平成30)年 1月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	78ヶ所	2		80ヶ所	996名	△ 2	78ヶ所	984名
就労継続 A型	117ヶ所	1		118ヶ所	2,179名	△ 9	109ヶ所	2,049名
就労継続 B型	313ヶ所	2		315ヶ所	6,174名	△ 9	306ヶ所	6,014名
計	508ヶ所	5	0	513ヶ所	9,349名	△ 20	493ヶ所	9,047名

就労移行支援事業所の増減 ⑨ワーカーズサポート(定員10名、H30.01/01開始)、⑩この家(定員20名、H30.01/01開始)

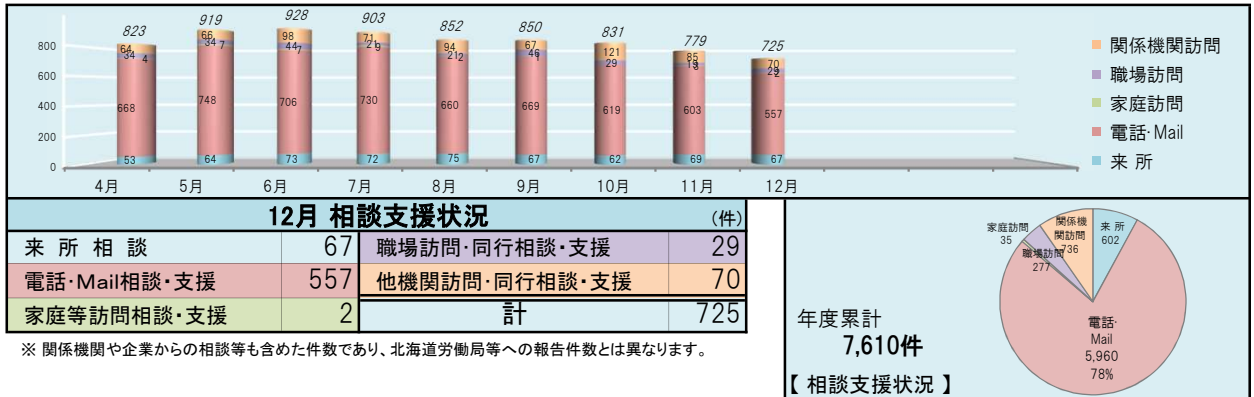
2017（平成29）年12月 相談支援状況報告

今年度の重点課題の1つ『新規相談者を、初回面談まで2ヶ月前後待たせてしまう課題の解消にむけ、工夫・試行錯誤し、タイムリーな対応が可能な仕組みづくりを目指す』目標の経過報告を。
 新規電話対応の工夫（受付シートの改…改…、ただ待つて頂くのではなく初回相談に向けて関わる機関との事前情報交換など）や札幌市就業・生活相談支援事業所（4カ所）との最速対応可能月日の情報共有など、取り組みを進めています。
 新規相談件数は昨年度と同程度で推移していますが、初回面談までのお待たせ期間は、昨年度平均4.5日間に比べ、12月末時点で3.3日間≒1.2日間の短縮となっています。残り3ヶ月も頑張ります。 2018.01/04 <M>

1. 新規相談の状況 (人)



2. 相談支援の状況 (件)



3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標:40人)

今年度累計 **18** 人 / 目標達成率 45.0%

No.	実習に取り組みました方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
17	精神 (発達診断あり) 30代 女性	サービス業 / 事務業務 / 制度等活用なし
18	精神 (発達診断あり) 30代 男性	北海道障害者職業センター / 職業準備支援

4. 就職件数 (目標:30人)

今年度累計 **27** 人 / 目標達成率 90.0%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
25	精神 30代 女性	金融業 / 事務業務
26	精神 40代 男性	卸売・小売業 / 販売・接客・加工・修理業務
27	精神 30代 男性	卸売・小売業 / 倉庫内ピッキング業務

5. その他 (地域での各種活動など)

01	fri	北海道特別支援学校進路指導連絡研究協議会； 道内全校の進路状況、次年度卒者の流通5社への職場実習の流れなど情報収集
02	sat	札幌市難病医療相談会（後縦帯骨骨化症）； 就労相談に対応。ナカボツ機関説明の上、複数相談者とディスカッション
07	thu ~ 08	fri 北海道サービス管理責任者研修（NPOきなはれ様受託）第4分野 就労； ファシリテーターとして研修参加
09	sat	発達障がい講座 Advance 就労支援コース（おがる主催）； オプザバーとして参加
13	wed	北海道障がい者介護技能習得支援講座 支援機関懇談会（ワーカースタッフ主催）； オプザバー参加。職場実習や雇入れ相談について助言
15	fri	平成29年度 第1回障害者就業・生活支援センター連絡会議； ナカボツ事業評価の内容（地域特性の反映など）について協議
15	fri	第2回 全道障害者就業・生活支援センター職員研修（小樽）； 羊蹄山麓自立支援協議会就労部会、医療専門職による地域創りの実践などを学んだ
19	tue	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 運営委員会； 広報 研修企画 事業提案各チームの活動共有、次年度定例会、就労サービス調査等協議
21	thu	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 広報チーム； さぼコン(2/2予定、若手支援者の意見交換の場)にむけた打合せなど

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

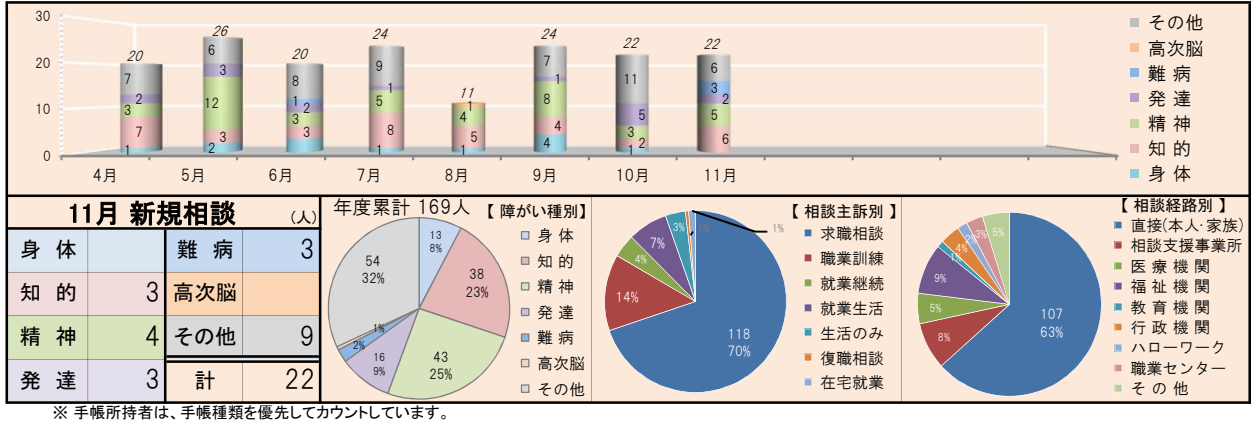
	11月1日 指定事業所	→ 11月中 増減 →		2017(平成29)年 12月1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	79ヶ所		▲ 1	78ヶ所	976名	△ 2	76ヶ所	964名
就労継続 A型	119ヶ所	1	▲ 3	117ヶ所	2,165名	△ 8	109ヶ所	2,055名
就労継続 B型	312ヶ所	4	▲ 3	313ヶ所	6,134名	△ 9	304ヶ所	5,974名
計	510ヶ所	5	▲ 7	508ヶ所	9,275名	△ 19	489ヶ所	8,993名

就労移行支援事業所の増減 ▼① オフィスサプライ3 (定員6名、事業廃止)

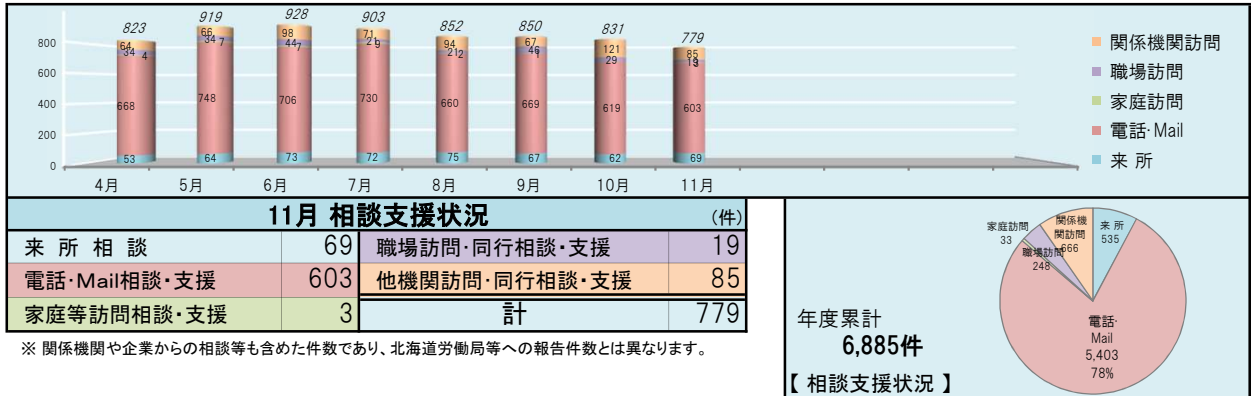
2017（平成29）年11月 相談支援状況報告

11/9(木)、北海道全ナカポツ実行委員方式で、第16回東北・北海道ブロック就業・生活支援センター連絡会を開催しました。北海道では、25障がい福祉圏域に対して11センターしか設置（整備率44%）が進んでおらず、各センターがカバー圏域も含めた広くて広い地域を対象に走り回っている現状を、東北のナカポツの皆さんにも理解・共有いただきました。公用車走行距離が年間70,000kmを超えるセンター、就労系サービス事業所が0の市町村などなど。午後はグループワーク「理想の地域つくってみよう」で、各センターの課題や様々な取り組みを情報交換し、いろんなヒントを持ち帰って頂けたかと… お疲れさまでした。 2017.12/04 (M)

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援 件数 (目標:40人)

今年度累計 16 人 / 目標達成率 40.0%

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
	なし	

4. 就職件数 (目標:30人)

今年度累計 24 人 / 目標達成率 80.0%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇い入れ企業業種 / 業務内容など
21	知的 20代 男性	卸売・小売業 / 品出し等店内業務
22	精神 30代 男性	サービス業 / 在宅業務
23	身体 (難病) 40代 男性	サービス業 / 事務業務
24	精神 40代 男性	卸売・小売業 / 食品配達業務

5. その他 (地域での各種活動など)

- 02 thu 特別支援学校ネットワーク会議(しごとサポートセンター主催)； たすくの状況、北海道のナカポツ整備が進んでいない状況など情報発信
- 08 wed 東北・北海道ブロック障がい者就業・生活支援センター経験交流会議(労働局主催)； 精神障がい者のケースカンファレンス等に参加
- 09 thu 第16回 東北・北海道ブロック 障がい者就業・生活支援センター連絡会； 東北・北海道のナカポツ職員97名参加。事務局として運営に参画
- 09 thu 厚生労働省職業安定局 雇用開発部 障害者雇用対策課 室長輔佐 来所 視察； 道内ナカポツの現状、課題等について協議
- 14 tue ~ 15 wed 就労支援員養成研修levelⅢ(就労支援推進部会 主催)； 会場設営や講師対応、総司会など研修運営に参加
- 17 fri 発達障がい背景にある大学生・専門学生の就労支援ワークショップ(就労支援推進部会・おがる共催)； 労働・福祉施策・社会資源について情報提供
- 22 wed 自立支援協議会 就労支援推進部会 広報チーム； 広報誌「さぼサボ」の記事の進捗確認など、研修会「さぼコン」の案内発送準備など。
- 22 wed 自立支援協議会 就労支援推進部会 研修企画チーム； 企業むけ研修・養成研修levelⅢ・大学ワークショップ等、終了した各種研修の振り返り
- 25 sat 精神科医療機関を対象とした精神障害者の就労支援ノウハウの周知・普及セミナー； シンポジストとして機関説明、取り組みなど発信
- 28 tue 第22回 埼玉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会定例会； 中立公平性を意識したセンター運営や就労移行調査等について情報発信

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

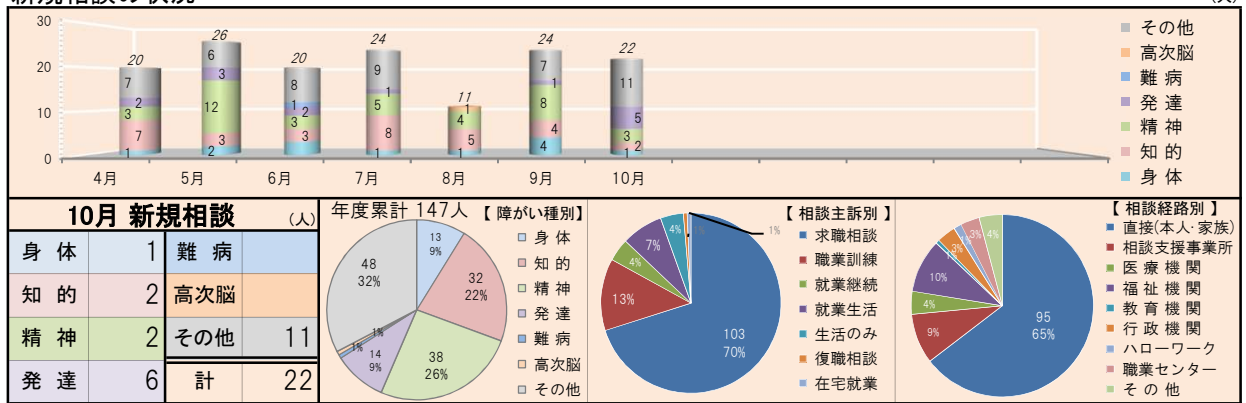
	10月1日 指定事業所	→ 10月中 増減 →		2017(平成29)年11月1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	78ヶ所	1		79ヶ所	985名	△ 3	76ヶ所	967名
就労継続 A型	119ヶ所			119ヶ所	2,190名	△ 8	111ヶ所	2,080名
就労継続 B型	312ヶ所	1	▲ 1	312ヶ所	6,124名	△ 9	303ヶ所	5,964名
計	509ヶ所	2	▲ 1	510ヶ所	9,299名	△ 20	490ヶ所	9,011名

▲ 就労移行支援事業所の増減 ⑧ 就労支援トライズ (定員20名、H29.11/01 事業開始)

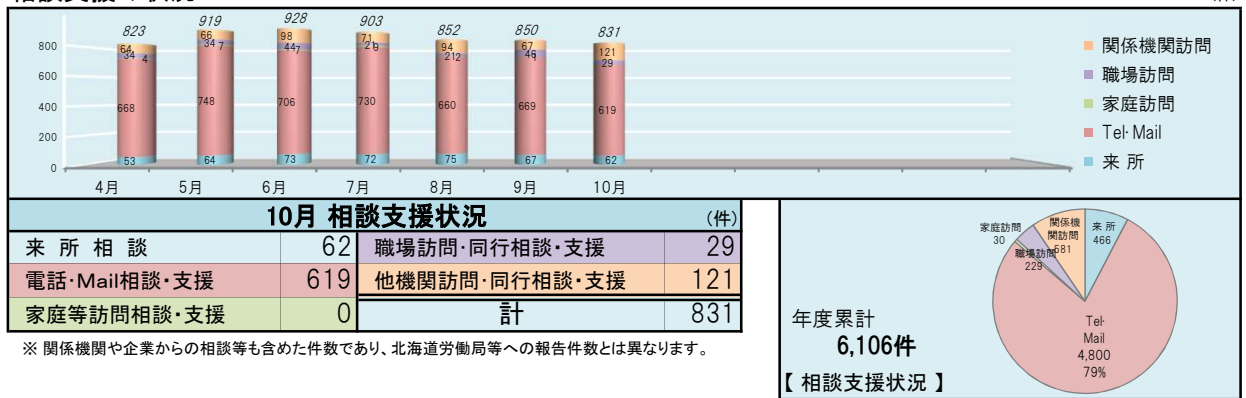
2017（平成29）年10月 相談支援状況報告

山の木々も色付き、秋が深まってきましたね。さて、今月の新規相談は手帳を持っていない方11名に相談のご連絡を頂いており、今年度に入り一番多い月になりました。たすくでは手帳の有無に関わらず、何らかの障害・病気で困りになられている方のご相談も受けています。25日には障がい者就職面接会が北海きたえーるで開かれました。企業参加は100社。障がいを開示して働きたいと考えている求職者は380名程が参加されました。年々参加者が減っている印象を受けますが、理由として障がい者雇用を積極的に進める企業が増え、面接を受けられる機会も増えてきた事も大きく影響しているのではないのでしょうか。<O.Y>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標:40人)

今年度累計 16人 / 目標達成率 40.0%

No.	実習に取り組みました方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
14	知的 20代 男性	卸売・小売業 / 品出し等店内業務 / 北海道労働局職場実習推進事業
15	精神 30代 男性	卸売・小売業 / 製造工場内作業 / 北海道労働局職場実習推進事業
16	精神 30代 男性	卸売・小売業 / 倉庫内作業 / 制度活用なし

4. 就職件数 (目標:30人)

今年度累計 20人 / 目標達成率 66.7%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
18	知的 20代 男性	サービス業 / 事務業務
19	知的 (発達診断あり) 40代 女性	サービス業 / 清掃、事務業務
20	知的 10代 男性	建設業 / 工事現場作業員

5. その他 (地域での各種活動など)

03 tue	就労支援推進部会 研修企画チーム； 企業向けセミナー、就労支援員養成研修level3 他の事前準備や当日役割分担等の打合せ
04 wed	企業と就労移行支援事業所の面談会① (北海道労働局主催)； 参加企業において障がいの捉え方や支援機関との連携について講話
05 rhu	札幌市手をつなぐ育成会 事務局長他来所； ナカボツ機能や相談支援の状況など情報交換
05 rhu	ジョブコーチ養成研修in札幌 実行委員会； 養成研修 (8/3~8/8開催) の振り返り、次年度のJC-NET共催の研修にむけた協議
07 sat	発達障がい講座 Advance 就労支援コース (おがる主催)； オプザーバーとして参加
11 wed	企業と就労移行支援事業所の面談会② (北海道労働局主催)； 参加企業において障がいの捉え方や支援機関との連携について講話
13 fri	第3回 わいわ「明日なに読む？」； 在職登録者10名参加。オススメ本を紹介し合う企画を実施
17 tue	就労支援推進部会 広報チーム； さぼサボの原稿構成の検討、さぼコンの役割分担と今後の打合せ内容の整理
19 thu ~ 20 fri	北海道サービス管理責任者研修 (NPOきなはれ様受託) 第4分野 就労； ファシリテーターとして研修参加
23 mon	発達障害者就労支援者育成事業(北海道 東北ブロック) 企画委員会； 支援関係者講習会、体験交流会の内容等について協議
25 wed	障がい者就職面接会@きたえーる； 面接応募者への同席支援など。その後の二次面接同行など支援継続中
27 fri	企業と就労移行支援事業所の面談会③ (北海道労働局主催)； 参加企業において障がいの捉え方や支援機関との連携について講話
31 tue	手稲区知的障がい者雇用促進セミナー； 介護・医療機関の人事・介護業務責任者にむけて、知的障がい等に対する理解について講話

6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

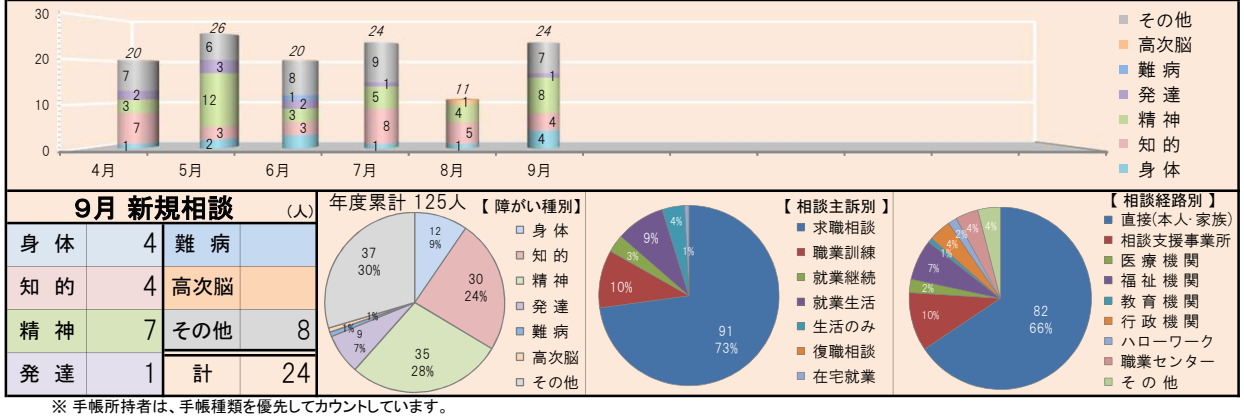
	9月1日 指定事業所	→ 9月中 増減 →		2017(平成29)年 10月1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	76ヶ所	2		78ヶ所	965名	△ 3	75ヶ所	947名
就労継続 A型	119ヶ所	2	▲ 2	119ヶ所	2,190名	△ 9	110ヶ所	2,060名
就労継続 B型	309ヶ所	3		312ヶ所	6,138名	△ 10	302ヶ所	5,958名
計	504ヶ所	7	▲ 2	509ヶ所	9,293名	△ 22	487ヶ所	8,965名

就労移行の増減 ⑥アトリエ テルス (定員10名,H29.10/01 A型から種変更) ⑦マイスタイル元町事業所 (定員20名,H29.10/01 事業開始)

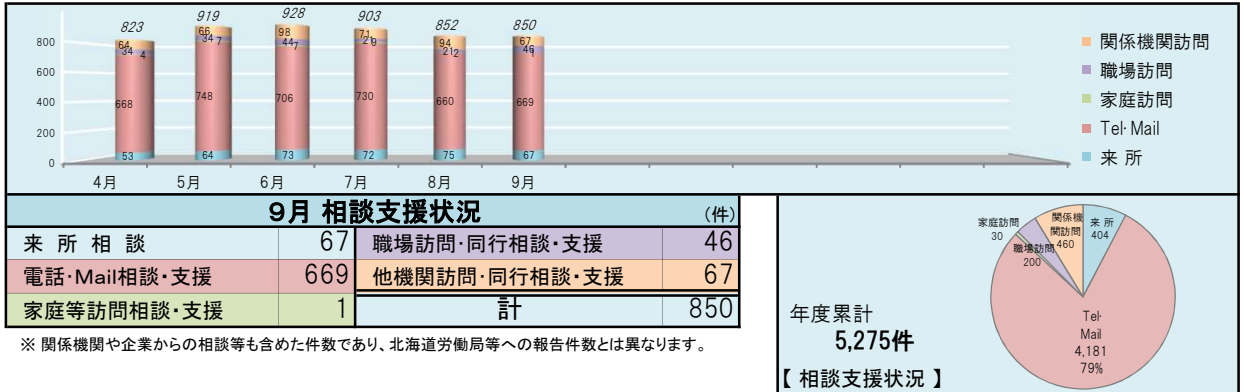
2017（平成29）年 9月 相談支援状況報告

今月あたまから、職員1名が産休に入り5名体制となっております。（代替職員募集中です）
 9/4(月)、今年度の重点目標の1つに掲げていた「第1回 札幌職リハ連絡会」を実施しました。市単ナカポツ×4所・ハローワーク3所・障害者職業センター・札幌市障がい福祉課・北海道労働局の13名。やや手狭な市役所会議室で顔を合わせ、各機関の近況やトピックス、チーム支援の在り方などを話し合いました。担当者が変わる度に0から関係を構築し直すロス無くしてけるよう定期実施していく事になっています（次回は1月）。実りのある連絡会としていきたいと思っています。 2017.10/05 thu <M>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数（目標:40人）

今年度累計 **13** 人 / 目標達成率 32.5%

No.	実習に取り組みました方（障がい種別・性別・年代など）	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
11	知的 10代 女性	卸売・小売業 / 品出し等業務 / 特別支援学校との連携実習
12	精神 30代 女性	サービス業 / 事務補助作業 / 北海道労働局職場実習推進事業
13	精神 30代 男性	卸売・小売業 / 倉庫内作業 / 制度活用なし

4. 就職件数（目標:30人）

今年度累計 **17** 人 / 目標達成率 56.7%

No.	就職された方（障がい種別・性別・年代など）	雇入れ企業業種 / 業務内容など
16	精神（手帳なし） 30代 男性	情報サービス業 / システム開発業務
17	身体（難病） 20代 女性	卸売・小売業 / 商品袋詰め等業務

5. その他（地域での各種活動など）

04 mon	札幌職リハ連絡会； ハローワーク3所・障害者職業センター・市内ナカポツ5所・北海道労働局・札幌市障がい福祉課での情報交換
05 tue	札幌市教育委員会訪問； 学びの支援係長と就労支援推進部会との連携等にむけた情報交換
05 tue	北海道就労・就業部会連絡協議会にむけた打合せ； 北海道障がい者就労支援推進委員会の進捗情報共有、協議会の内容など協議
06 wed	医療機関と公共職業安定所の連携による就労支援モデル事業 実施状況評価会議； 昨年度～今年度の取り組み状況や連携にむけた情報交換
07 thu	第16回 東北・北海道ブロック 就業・生活支援センター連絡会（11/9予定）； 大会事務局として案内発送（道内11・東北40センター）
12 tue	精神障がい者雇用支援連絡協議会（職業センター主催）； 精神障がい者を対象とした職業準備支援短期プログラムの内容等を協議
13 wed	医療機関向け就労支援セミナー（北海道労働局主催）； 大谷地病院デイケア利用者を対象とした出張講座、ナカポツでの利用法など講話
20 wed	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 広報チーム； 広報誌「さぼサボ」の記載内容の協議検討。若手支援者のついで「さぼコン」開催について協議。
22 sat	Sapporo Action； 多職種ネットワーク研修会「就労支援について～企業を招いて～」コーディネーターとして参加
24 SUN	障がい者の就労を当事者とともに考えるシンポジウム； 職場における虐待防止にむけて、障がい当事者・企業・支援機関からの発信を学んだ
28 thu	障害者就職支援スキルアップ研修会（全道Hw職員対象）； ナカポツ機能や福祉サービス、実務（連携や役割分担）にむけて講義
29 fri	北海道就業・就労部会連絡協議会； 道内各圏域・市町村の自立支援協議会での就労関連の取り組み等を情報交換
30 sat	視覚障害者就労促進フォーラム； 視覚障がい当事者・医療機関・支援機関等から「ロービジョンケア」について学んだ

6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

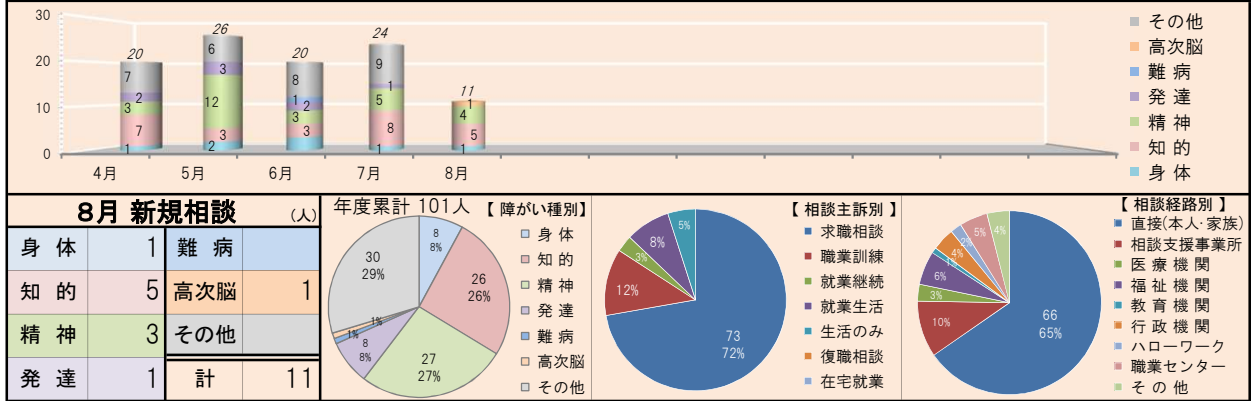
	8月1日 指定事業所	→ 8月中 増減 →		2017(平成29)年 9月 1日 現在				
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →	営業事業所	営業総定員
就労移行	75ヶ所	1		76ヶ所	918名	△ 3	73ヶ所	900名
就労継続 A型	117ヶ所	2		119ヶ所	2,216名	△ 9	110ヶ所	2,086名
就労継続 B型	305ヶ所	4		309ヶ所	6,088名	△ 11	298ヶ所	5,888名
計	497ヶ所	7	0	504ヶ所	9,222名	△ 23	481ヶ所	8,874名

就労移行支援事業所の増減 ⑤ 就労移行支援事業所りふおらず（定員20名、H29.09/01 事業開始）

2017（平成29）年 8月 相談支援状況報告

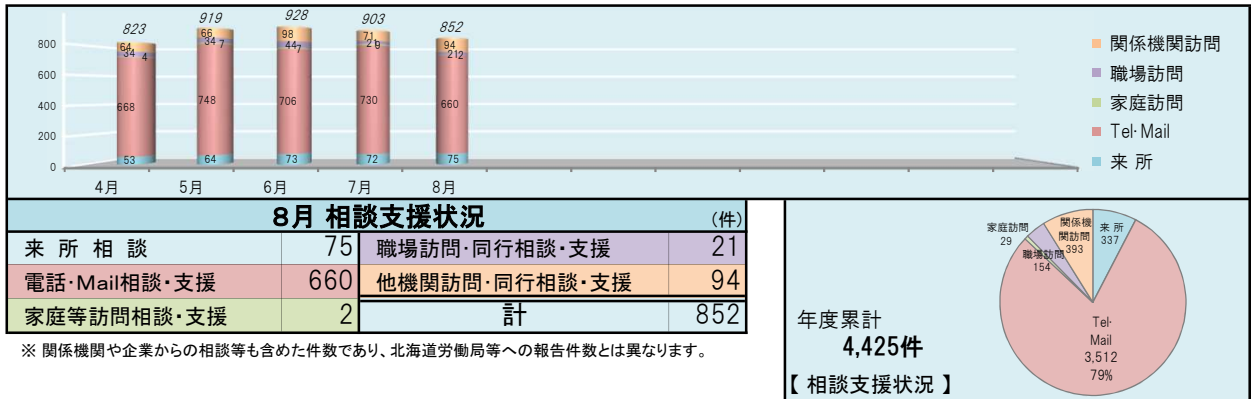
今月はジョブコーチ養成研修や夏の大交流会など地域の各種活動が目白押しでした。たすくもお盆休みをいただき、職員共々今後の地域貢献に向けて休息を取ることができました。
 新規相談が今年度初の10件台と相談支援数が数か月ぶりの800件台で少し落ち着いた1ヶ月だった様に思います。
 就職件数は年間目標の半分を達成しました。就職はその方の人生の目標達成のスタートと思っていますので、その方らしく働き・暮らすために長く元気に働き続けられる支援を目指し、地域の方々にご協力頂きながら、スタッフ一同努力してまいります！
 <O>

1. 新規相談の状況



※ 手帳所持者は、手帳種類を優先してカウントしています。

2. 相談支援の状況



※ 関係機関や企業からの相談等も含めた件数であり、北海道労働局等への報告件数とは異なります。

3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標:40人)

今年度累計 10人 / 目標達成率 25.0%

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
8	精神 (手帳なし) 50代 女性	北海道障害者職業センター / 職業準備訓練
9	精神 (発達診断あり) 30代 女性	北海道障害者職業センター / 職業準備訓練
10	精神 40代 男性	卸売・小売業 / 店舗内作業 / 就労移行連携実習

4. 就職件数 (目標:30人)

今年度累計 15人 / 目標達成率 50.0%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
14	精神 40代 男性	卸売・小売業 / 店舗内作業
15	知的 20代 男性	食料品製造業 / 製造・加工補助業務

5. その他 (地域での各種活動など)

02 wed	職員各自セルフチェックのうえ職員会議で協議・確認し「障害者就業・生活支援センター事業評価・点検シート」を北海道労働局へ提出
03 thu ~ 8 tue	JC-NET ジョブコーチ養成研修 in 札幌; 講師、アシスタントトレーナー、タイムキーパーなど実行委員として研修運営に参加
03 thu	札幌市ナカポツ代表者会議; 市内ナカポツ圏域の確認、職リハ機関・教育委員会等との連携会議にむけた打合せ
07 mon	就労支援セミナー意見交換会 (北海道労働局主催); 医療~福祉の多関係機関・多職種による職場実習等における意見交換会。
17 thu	札幌市障がい福祉課と情報交換; 自立支援協議会就労支援推進部会として、札幌障がい者プラン策定にむけた情報交換
18 fri	夏の交流会 (やとってねっと主催/全日空ホテル); 在職登録者13名、職員4名で参加。楽しく談笑し、明日へのエネルギー補給しました!
19 sat	発達障がい講座 Advance 就労支援コース (おがる主催); オプザーバーとして参加
28 mon	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 運営委員会; 部会定例会の振り返り、就労支援事業所のサービス質向上にむけた取組み等を協議
29 tue	職業準備支援 (障害者職業センター) 受講者向けプログラム; 受講生約20名に対して「社会資源」について講話、質疑応答などを対応
30 wed	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 広報チーム; 「広報誌さぼサポ」の原稿案内の確認と原稿依頼の協議

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

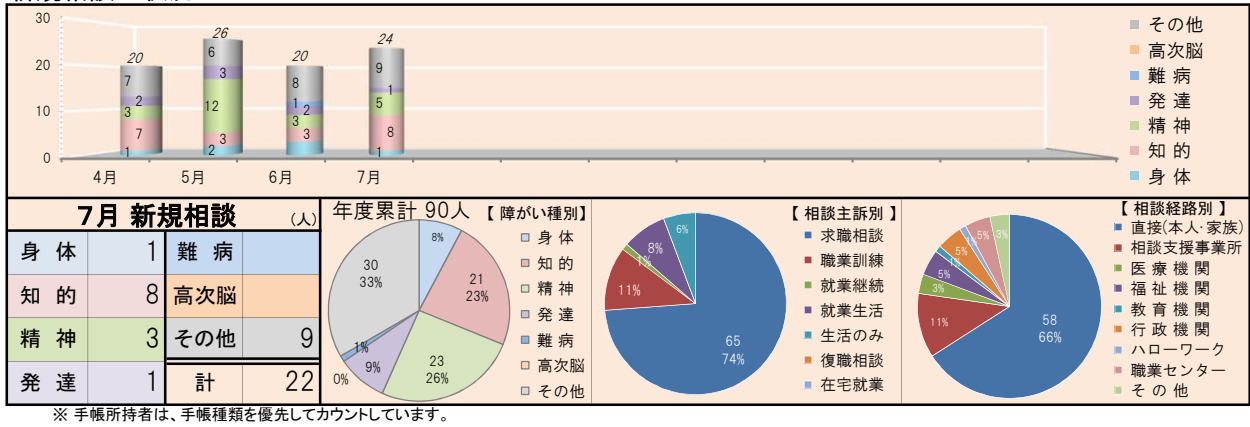
	7月1日 指定事業所		→7月中 増減→		2017(平成29)年 8月1日 現在		
	事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→休止中→	営業事業所	営業総定員
就労移行	75ヶ所		75ヶ所	898名	△ 3	72ヶ所	880名
就労継続 A型	115ヶ所	2	117ヶ所	2,196名	△ 7	110ヶ所	2,086名
就労継続 B型	297ヶ所	12	305ヶ所	6,023名	△ 8	297ヶ所	5,883名
計	487ヶ所	14	497ヶ所	9,117名	△ 18	479ヶ所	8,849名

就労移行支援事業所の増減 なし

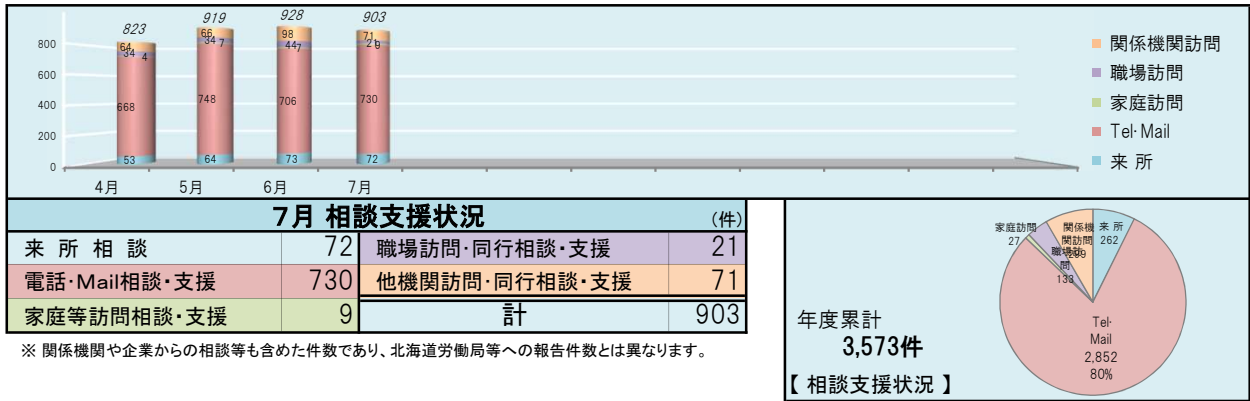
2017（平成29）年 7月 相談支援状況報告

今月は北海道に似つかわしくない猛暑続きでした。（※皆様、積極的に水分補給されますよう…！）
 札幌は就労系事業所数が豊富となり、今年度開始された事業所29カ所/終了された事業所4カ所。ここ数ヶ月間で開始された事業所数が上回りで総計25カ所増↑となっております。
 ▶4月総計462ヶ所(移行:73ヶ所、A型:111ヶ所、B型:278ヶ所※休止含)
 ▶7月総計487ヶ所(移行:75ヶ所、A型:115ヶ所、B型:297ヶ所※休止含)
 「ご本人に合った通所先探し」をサポート出来るよう、今後も地域の皆様のご協力頂きながら努めて参りたいと思います。（1）

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標:40人)

今年度累計 7 人 / 目標達成率 17.5%

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
6	知的 30代 男性	元気スキルアップセミナー参加
7	知的 20代 男性	医療・福祉 / 清掃業務/雇用前ジョブサポーター

4. 就職件数 (目標:30人)

今年度累計 13 人 / 目標達成率 43.3%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
11	精神 40代 男性	小売・卸売業 / 仕分け作業
12	身体 (難病) 30代 女性	不動産業 / 事務補助
13	身体 30代 男性	小売・卸売業 / 品出し・レジ接客など店舗内作業

5. その他 (地域での各種活動など)

01 sat	発達障がい講座 Advance 就労支援コース (おがる主催) ; オプザーバーとして参加。
04 tue	発達障がい者雇用支援連絡協議会 (職業センター主催) ; 職業準備支援を活用した発達障がい者への効果的・柔軟な支援について情報交換
04 tue	自立支援協議会 就労支援推進部会 事業提案チーム ; さっぽろ障がい者プランの進捗情報共有、提案の方向性など協議
08 sat	市民公開医療講演会 (日本てんかん協会北海道支部主催) ; 「障がいのある方の就労について」講演
10 mon、14 fri	障がい者支援員養成研修level I 2・3日目 (札幌市自立支援協議会主催) ; 会場設営、司会進行、座談会にて就労支援推進部会説明等
12 wed、15 sat	ペアレントメンターフォローアップ研修 ; ペアレントメンター約30名に対して、就労支援制度・社会資源など講義
13 thu	ジョブコーチ養成研修実行委員会 ; 研修に向けた役割分担
18 tue	平成28年度 雇用安定等事業 監査 ; 指摘事項なし。北海道のナカポツ整備や職リハ機関の連携等について情報交換
21 thu	札幌市ジョブサポーター会議 ; 支援状況の報告、事例検討して情報交換
24 mon	自立支援協議会 就労支援推進部会 研修企画チーム ; 企業向け研修、大学・専門学校むけ発達障がいワークショップの内容など協議
25 tue	「職場アセスメント」複数法人合同研修 ; グループワークを通して、各自の職場アセスメントの偏りや傾向把握など
27 thu ~ 28 fri	道東地域就労支援フォーラム・北海道就業・生活支援センター研修 (北見市) ; 各圏域の自立支援協議会についてのグループワーク等
31 mon	自立支援協議会 研修チーム ; 障がい者支援員養成研修level I 振り返り、level II 開催に向けた打合せ

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

	6月1日 指定事業所	→ 6月中 増減 →		2017(平成29)年 7月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	74ヶ所	1		75ヶ所	898名	△ 3	72ヶ所	880名
就労継続 A型	115ヶ所	1	▲ 1	115ヶ所	2,156名	△ 7	108ヶ所	2,046名
就労継続 B型	293ヶ所	5	▲ 1	297ヶ所	5,863名	△ 7	290ヶ所	5,723名
計	482ヶ所	7	▲ 2	487ヶ所	8,917名	△ 17	470ヶ所	8,649名

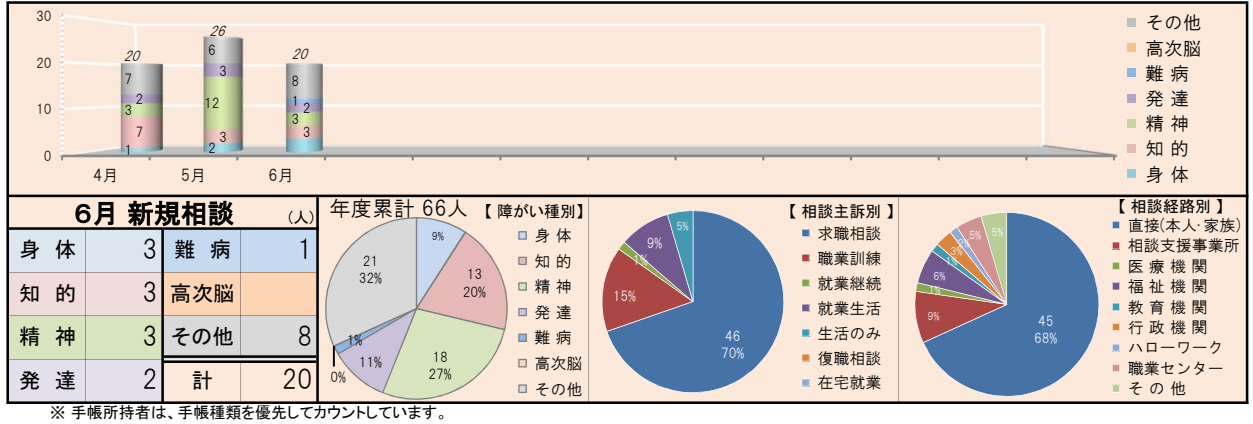
就労移行支援事業所の増減 ④ 就労継続支援事業所テスターズラボ (定員8名、H29.07/01 事業開始)

2017（平成29）年 6月 相談支援状況報告

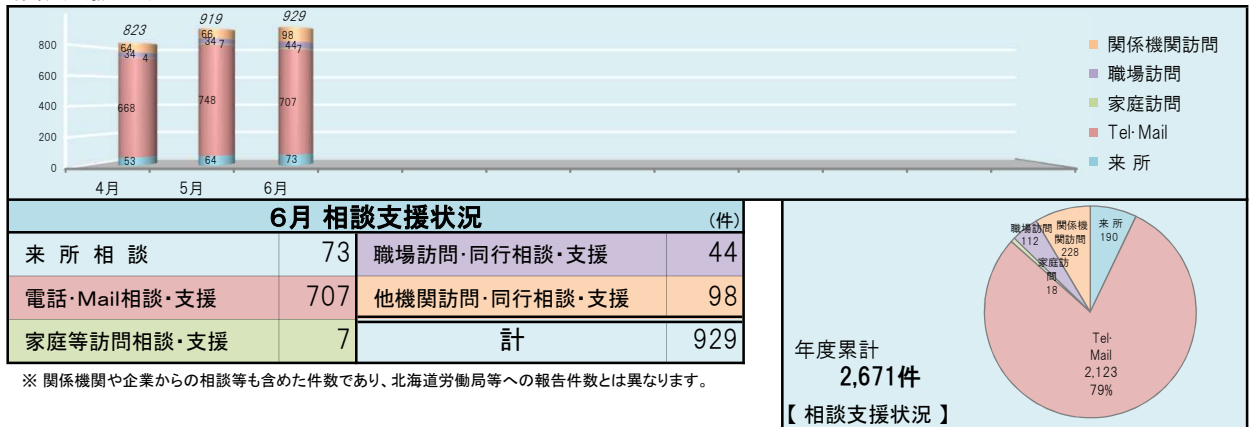
今月は、地域の各種会議・研修・セミナー、在職登録者の集い（わ・わ・わ）など、相談支援業務以外の業務も目白押しでした。おひとりお一人の相談・支援を丁寧に取り組むことで、少しずつ地域を変えていく事にも繋がるはず。一方で、地域の関係機関のみな様と課題を共有したり、解消にむけた会議やイベントなどの活動も大切な機会。この2つのバランスやタイミングを計るのって難しいなあと振り返っています。来月以降も地域の各種活動予定が続きます。チームワークで知恵を出し、支えあって、夏を乗り越えたいものです！

2017.06/30 <M>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数（目標:40人）

今年度累計 **5** 人 / 目標達成率 12.5%

No.	実習に取り組まれた方（障がい種別・性別・年代など）	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
3	精神 40代 男性	卸売・小売業 / 倉庫内作業 / 就労移行連携実習
4	知的 10代 女性	卸売・小売業 / 店舗内作業 / 特別支援学校連携実習
5	精神（発達診断あり） 40代 女性	元気スキルアップセミナー 参加

4. 就職件数（目標:30人）

今年度累計 **10** 人 / 目標達成率 33.3%

No.	就職された方（障がい種別・性別・年代など）	雇入れ企業業種 / 業務内容など
10	知的 20代 女性	卸売・小売業 / 店舗内作業

5. その他（地域での各種活動など）

02 fri	特別支援学校就労支援セミナー（北海道労働局主催）； 北海道手稲養護学校での出張講座（生徒1名・教員等3名）講師を対応
06 tue	札幌市自立支援協議会 研修チーム； 障がい者支援員養成研修level1の受講者選定、当日の役割分担など協議
09fri ~ 10sat	全国就業支援ネットワーク 第19回 定例研究研修会（大阪市）； 厚生労働省施策(障害者雇用対策課・障害福祉課)など情報収集
15 thu	「札幌圏 就労移行 状況調査」；調査結果の集計等完了。統計情報を札幌圏全就労移行へMale、調査結果を札幌圏ナカボツに発送・共有
17 sat	第1回 わ・わ・わ「日帰り、一泊旅行の計画をたててみよう」；在職登録者13名参加。各自、希望する旅行のプランニングを試行
21 wed	札幌市自立支援協議会 専門部会連絡会議；こども部会欠席だった為、相談部会と就労支援推進部会で報酬定等の施策など情報交換
23 fri	特別支援学校就労支援セミナー（北海道労働局主催）； 北海道星置養護学校 ほしみ高等学園での出張講座（生徒12名・教員3名）講師を対応
26 mon	障がい者支援員養成研修level I 1日目（札幌市自立支援協議会主催）；会場設営・受付・会場係として研修運営のお手伝い
27 tue	吉田学園 北海道リハビリテーション大学校 学生2名（作業療学科）来所； たすくの機能や役割、就労支援の実情など講話
27 tue	札幌市生活保護課ケースワーカー3年次研修； ケースワーカー、就労支援担当者148名「障がい者支援施策の活用方法等」について講話
28 wed	自立支援協議会 東区地域部会 定例会；東区の就労系事業所、居宅介護事業所等の職員向け「障がい者の就労支援」講演、シンポジウム
30 fri	北海道労働局 職業対策課 訪問； ナカボツ・ハローワークでの情報交換機会開始にむけた情報交換・打合せ

6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

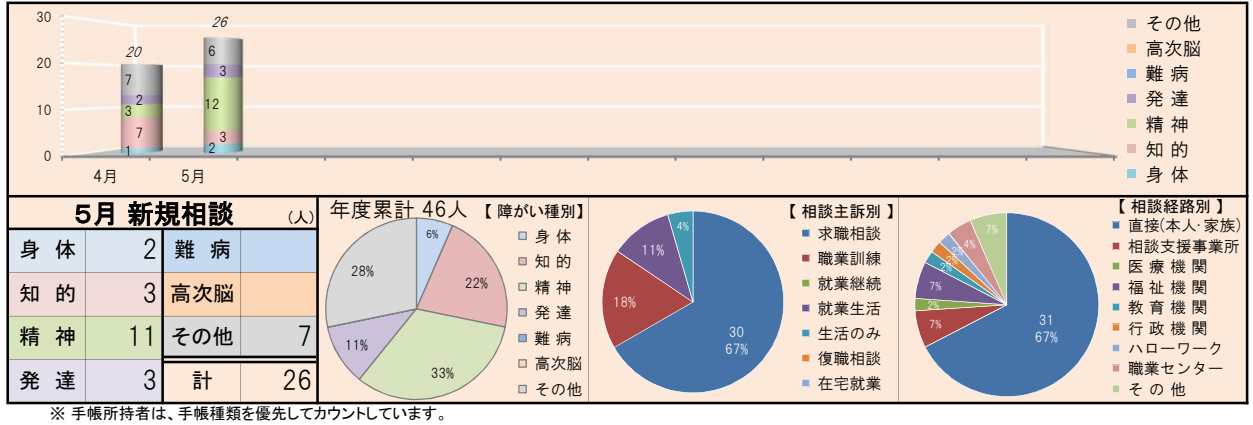
	5月1日 指定事業所	→ 5月中 増減 →		2017(平成29)年 6月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	73ヶ所	1		74ヶ所	890名	△ 3	71ヶ所	872名
就労継続 A型	112ヶ所	4	▲ 1	115ヶ所	2,138名	△ 6	109ヶ所	2,038名
就労継続 B型	283ヶ所	11	▲ 1	293ヶ所	5,786名	△ 8	285ヶ所	5,656名
計	468ヶ所	16	▲ 2	482ヶ所	8,814名	△ 17	465ヶ所	8,566名

就労移行支援事業所の増減 ③ トランジット麻生（定員20名、H29.05/15 事業開始）

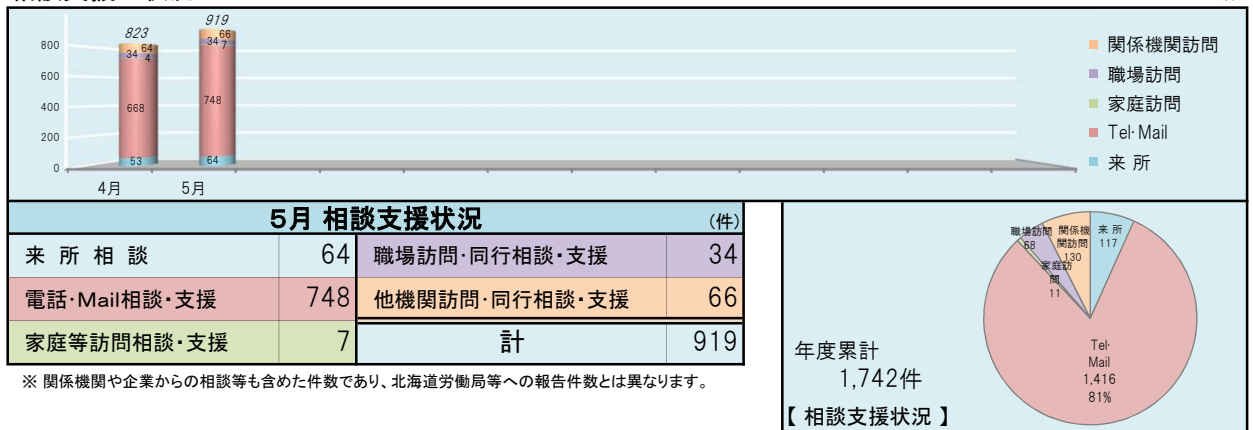
2017（平成29）年 5月 相談支援状況報告

5月はGWで連休があることから新規相談数は減少するかと予想しておりましたが、結果は先月より増。相談支援数も久しぶりの900件台です。最後の900件台はいつだったか…と遡りましたら、2011(平成23)年度でした。当時の私は新人2年目で、振り返ると確かに毎日のようにバタバタ、今とは違う忙しさでした。市単のナカボツは増えましたがそれでも新規相談数が減るわけでもなく、以前では支援機関を利用しないような方々が相談に来られている、そのような社会の変化がこの6年でもありました。そのため、経験を積んでも日々勉強！です。
2017.06.05 <Tani>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数（目標：40人）

今年度累計 2人 / 目標達成率 5.0%

No.	実習に取り組まれた方（障がい種別・性別・年代など）	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
2	知的 20代 男性	小売業 / 品出し・棚整理等業務 / 北海道労働局職場実習推進事業

4. 就職件数（目標：30人）

今年度累計 9人 / 目標達成率 30.0%

No.	就職された方（障がい種別・性別・年代など）	雇入れ企業業種 / 業務内容など
7	精神（発達診断あり） 30代 男性	各種商品卸売業 / ピッキング・棚卸業務
8	精神 40代 女性	複合サービス事業 / 物流事務業務
9	知的 50代 男性	洗濯・理容業 / クリーニング仕上げ業務

5. その他（地域での各種活動など）

13 sat	北海道学習障害児・者親の会クローバー 創立30周年記念フォーラム； 医療・教育の果たした役割・これからの学習について
14 sun	おがる 平成29年度実践報告会； ナカボツ機関説明や地域就労支援機関、自立支援協議会就労支援推進部会の活動等について講演
17 wed	ジョブコーチ養成研修実行委員会； 研修に向けた大まかな役割分担、スケジュール等の打合せ
18 thu	札幌市ジョブサポーター連絡会議； ピアスーパービジョンの手法を使っている事例検討
19 fri	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 部会構成員定例会； 94事業所、141名が参加。みなみの杜高等支援学校見学やグループワーク
25 thu ~ 26 fri	北海道サービス管理責任者研修（NPOきなはれ様受託）第4分野 就労； ファシリテーターとして研修参加

6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

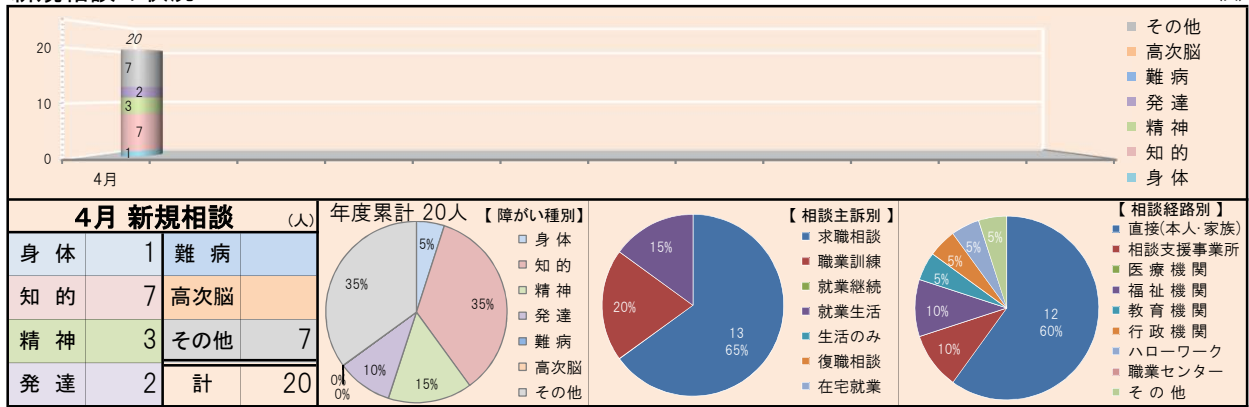
	4月1日 指定事業所	→ 4月中 増減 →		2017(平成29)年 5月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	73ヶ所			73ヶ所	870名	△ 3	70ヶ所	852名
就労継続 A型	111ヶ所	1		112ヶ所	2,088名	△ 7	105ヶ所	1,978名
就労継続 B型	278ヶ所	5		283ヶ所	5,606名	△ 8	275ヶ所	5,476名
計	462ヶ所	6	0	468ヶ所	8,564名	△ 18	450ヶ所	8,306名

就労移行支援事業所の増減 なし

2017（平成29）年 4月 相談支援状況報告

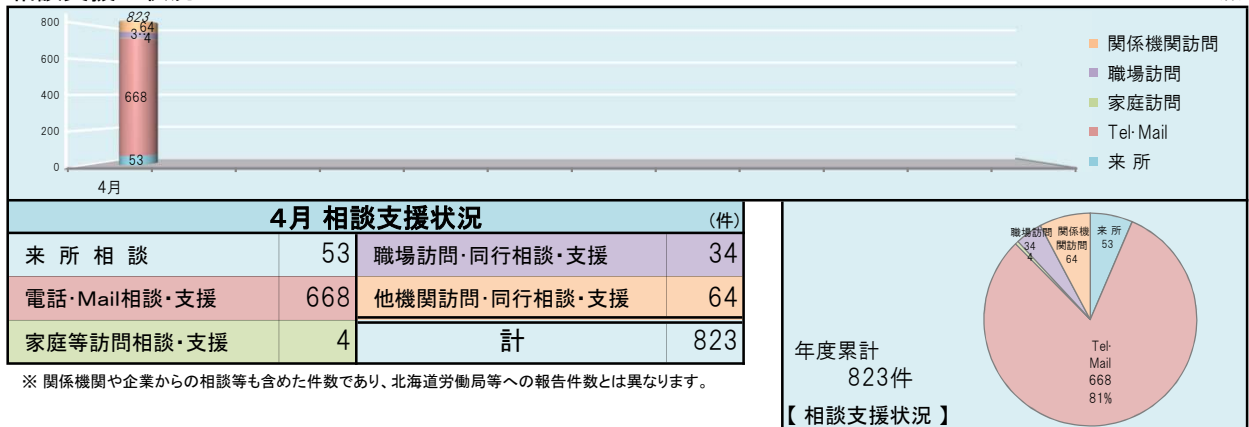
職員6名体制（育休から1名復帰）で、新年度をスタートしました。
 4月は、新卒採用など6名の方が就職・勤務開始され、職場定着にむけた集中支援の動きが多くありました。新規相談は、初回面談を週2～4名行うなど、工夫（少し無理も）しながら対応していますが、2ヶ月前後お待ち頂かざるを得ない状況です。
 今年度も、地域の関係機関のみな様と役割分担させていただきながら、一人でも多くの「その方らしく働き・暮らす」の実現にむけて頑張ります。
 2017.05/01 <M>

1. 新規相談の状況



※ 手帳所持者は、手帳種類を優先してカウントしています。

2. 相談支援の状況



※ 関係機関や企業からの相談等も含めた件数であり、北海道労働局等への報告件数とは異なります。

3. 職場実習及び職業準備支援件数（目標：40人）

今年度累計 1 人 / 目標達成率 2.5%

No.	実習に取り組まれた方（障がい種別・性別・年代など）	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
1	知的 20代 女性	北海道障害者職業センター / 職業準備訓練

4. 就職件数（目標：30人）

今年度累計 6 人 / 目標達成率 20.0%

No.	就職された方（障がい種別・性別・年代など）	雇入れ企業業種 / 業務内容など
1	知的（発達診断あり） 10代 男性	卸売・小売業 / 店舗内業務
2	精神 30代 男性	サービス業 / 清掃業務
3	精神（発達診断あり） 20代 女性	福祉サービス業 / 事務業務
4	知的 10代 男性	卸売・小売業 / 事務補助・店舗内業務
5	知的（発達診断あり） 20代 女性	福祉サービス / 厨房補助業務
6	知的 20代 男性	降売・小売業 / 倉庫内業務

5. その他（地域での各種活動など）

10 mon	関係機関41ヶ所（委託相談支援事業所、ハローワーク、職業センター、特別支援学校など）へ平成28年度活動報告を送付
12 wed	札幌市自立支援協議会 専門部会連絡会議； 相談・こども・就労各部会間の情報共有、地域課題の解消に向けた方策協議
12 wed	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会「平成29年度 定例会」参加申し込み受付事務処理 ～ 5/8 mon
17 fri	北海道障がい保健福祉課による「平成28年度 生活支援等事業」現地調査； 指摘事項等なし。道内ナカボツ整備にむけた情報交換・協議
17 mon	札幌市ナカボツ代表者会議； 市内ナカボツ5ヶ所と情報交換等。就労支援推進部会との位置づけ、方向性など協議
18 tue	札幌・石狩・江別・北広島市内の就労移行支援事業所87ヶ所へ「就労移行 状況調査」依頼送付（平成28年度活動報告・パンフも同封）
20 thu	札幌市自立支援協議会 研修チーム； 障がい者支援員養成研修レベル1 講義順 時間配分など協議 手分けして講師依頼を進めることに
25 tue	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 研修企画チーム； 就労支援員養成研修レベル3の研修内容等を協議

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

	3月1日 指定事業所	→ 3月中 増減 →		2017(平成29)年 4月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
● 就労移行	71ヶ所	2		73ヶ所	865名	△ 3	70ヶ所	847名
● 就労継続 A型	112ヶ所	1	▲ 2	111ヶ所	2,065名	△ 7	104ヶ所	1,955名
● 就労継続 B型	275ヶ所	5	▲ 2	278ヶ所	5,479名	△ 8	270ヶ所	5,349名
● 計	458ヶ所	8	▲ 4	462ヶ所	8,409名	△ 18	444ヶ所	8,151名

▲ 就労移行の増減 ① クロスジョブ札幌（定員20名、H29.04/01 事業開始） ② 就労移行支援事業所ソウアライブ（定員12名、H29.04/01 事業開始）